

第33回 水俣・芦北地域雇用創造協議会 総会

資 料

議 決 事 項

議案第1号

令和7年度(2025年度)事業実施計画(案)

令和7年度(2025年度)事業実施計画案について、規約第17条の規定により本総会の議決を求める。

令和7年(2025年)3月12日

水俣・芦北地域雇用創造協議会
会長 門崎博幸

令和7年度(2025年度)事業実施計画(案)

1 目的

第七次水俣・芦北地域振興計画の基本施策1「水俣・芦北地域への『流れ』の拡大」に基づき、これまで取り組んできた産業振興による地域活性化の流れを更に強化するため、地域の特性を活かした施策を推進する。

地域経済や雇用面で重要な役割を担う地元の企業へ焦点を当て、ニーズに対応した支援に取り組むこととし、地域一体となった第一次産業の振興、六次産業化、観光振興等、総合的な産業振興に取り組む。

2 事業内容

(1) 地域資源ブランド化支援事業

環境首都にふさわしい農林水産物等のブランド化を推進することで、地域製品の消費拡大、生産者等の収入確保を図る。

[具体的な取組み]

○環境配慮型農産物等ブランディング

- ・物産展等の出展・PR
- ・地域の生産者・飲食店等で構成する“食”のネットワーク構築 (新)
- ・スローフードの取組み^{*}に対する支援 (新)

※ 現代の食文化の中で、地域の伝統的な食にも焦点を当て、それを取り巻く生産者や消費者、環境に配慮した食文化を共存させ、後世につなぐ取組み。

地域の食材や伝統的な調理法などを守りながら、既存の価値のブラッシュアップだけでなく新たな価値を見出すための関係づくりをサポートすることで、他にはない本地域の「食の豊かさ」を通じた地域活力の推進を図る。

○みなまた和紅茶ブランディング

- ・アフタヌーンティーイベント (@赤松館) (新)

地域で生産された和紅茶と地域の食材を使った食事・スイーツを楽しむイベントを、芦北町の歴史ある建物「赤松館」で開催する。

みなまた和紅茶ブランドの認知度を向上させるとともに、地域の豊かな食の魅力や文化も併せて発信する。

- ・九州和紅茶サミットにおけるイベント
- ・輸出・コンテスト出品支援

○水産物ブランディング

- ・マガキ稚貝購入補助、新たな養殖手法に係る支援
- ・カキ小屋PR・販路拡大

- ・あさり生育のための被覆網設置・資材購入支援、潮干狩りイベント
- ・アジアカエビの放流による効果の検証
- ・各漁協が取り組む水産加工品開発、カキ小屋等の環境整備支援
- ・新規就業者を募る漁業フェアへの出展、体験漁業受け入れ支援

○地元林産材の高付加価値化

- ・地元林産材を活用した商品開発
- ・地元林産材のPR

○ガストロノミーマネジメントの推進

- ・龍谷大学（農学部）、立命館大学（食マネジメント学部）への出張講義及びフィールドワーク受け入れ

(2) 地域産品販路開拓支援事業

当地域の環境に配慮した農林水産物などの地域資源や地域の伝統文化を活用して、農商工連携等による付加価値の高い商品を開発するとともに、国内外の新たな販路を開拓することで、総合的な産業振興に寄与し、雇用創出につなげる。

[具体的な取組み]

○地域産品を活用した新商品開発・商品力UP支援

- ・新商品開発や、既存商品のデザイン改良などを実施する事業者を支援

○各種展示商談会への出展

- ・食に関する展示商談会への出展
- ・展示商談会視察研修

○県外催事出展経費等助成

- ・県外で行われる特産品フェア等の催事出展に要する経費の一部助成 **新**

地域の事業者が県外（鹿児島県北薩地域除く）で行われる特産品フェア等の催事に出展し、当地域で生産されたもの、もしくは原材料に当地域の産品を使用した製品を販売・PRする際の経費を助成する。

助成額は、催事等の開催地及び出展日数に応じて、一定額とする。（上限10万円、1事業者につき年2回まで）

○地域産品の販路開拓

- ・国内外に向けて、需要開拓、販路拡大等の戦略的なマーケティングを実施

○地域産品のPR

- ・地域産品の展示・試食・販売（@熊本空港内「QSHU HUB」） **新**

熊本空港内「QSHU HUB」は、熊本のローカルな商品や価値を発信する場として、国内外の観光客やビジネスマンが訪れる場所である。

3か月間、その展示スペースを借用して地域産品の展示・販売を行うとともに、試食・PR等の対面イベントを計6回実施する。

(3) 水俣・芦北観光応援事業

地域の農林水産業とくまモンがコラボレーションした「くまモンファーム」等の体

験型旅行商品の造成・販売に引き続き取り組むとともに、国内外をターゲットにした情報発信を行い、交流人口の最大化を図る。

[具体的な取組み]

- くまモンファーム商品販売・PRイベント
- 旅行博等への出展
- SNS等を活用した情報発信

(4) 雇用促進・人材育成事業

地域内事業者の人材確保及び多様な働き方を推進するとともに、建設業・福祉医療分野等の資格取得を支援する。

また、高校生の就職支援を行うことで、地域の発展を支える人材の育成と若者の地元定着を図る。

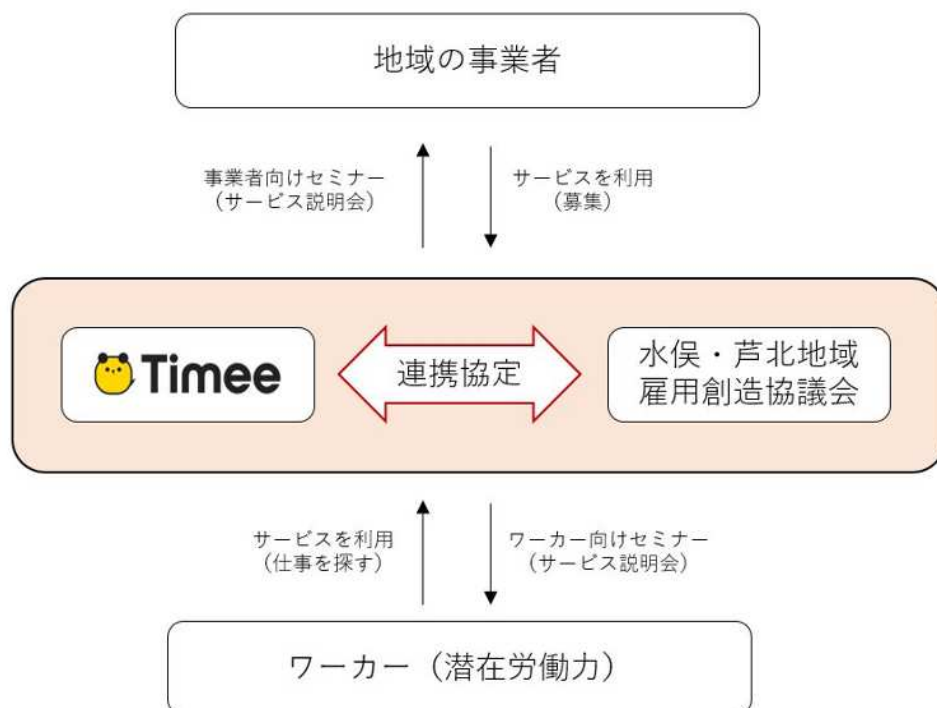
[具体的な取組み]

- 労働力不足解消・雇用機会の創出
 - ・「人材確保支援プラットフォーム」構築の検討 **新**
 - ・「Timee」活用セミナー等の実施 **新**

地域の人手不足・担い手不足が深刻化していることから、複数の支援サービスを組み合わせた「人材確保支援プラットフォーム」の構築を検討する。

令和7年度は『Timee』と連携した労働力不足解消・雇用機会の創出に取り組む。※当協議会では、主にTimeeが行うセミナーの会場手配や参加者募集等の周知を支援する。

『Timee』と連携した労働力不足解消・雇用機会の創出イメージ



○**受講料の一部助成**

- ・研修受講料の一部助成（技能後継者・福祉医療関係）

○**高校生の就職支援**

- ・就職模擬面接会
- ・地元企業見学会
- ・地元企業による企業説明会（しごと発見塾）

○**事務局経費**

- ・会計年度任用職員人件費、事務局運営費

議案第2号

令和7年度(2025年度)当初予算(案)

令和7年度(2025年度)事業予算案について、規約第17条の規定により本総会の議決を求める。

令和7年(2025年)3月12日

水俣・芦北地域雇用創造協議会
会長 門崎博幸

令和7年度(2025年度)水俣・芦北地域雇用創造協議会 当初予算(案)

<収入>

(単位:千円)

経費区分	内 容	R7年度 当初予算(案)	<参考> R6当初予算
負担金	県	46,950	46,950
繰越金		1	1
諸収入	預金利子	1	1
収入計		46,952	46,952

<支出>

経費区分	内 容	R7年度 当初予算(案)	<参考> R6当初予算
事業費		46,950	46,951
1 地域資源ブランド化支援事業	環境配慮型農産物等ブランディング みなまた和紅茶ブランディング 水産物ブランディング 地元林産材の高付加価値化 ガストロノミーマネジメントの推進	17,600	17,200
2 地域産品販路開拓支援事業	新商品開発・商品力UP支援 各種展示商談会への出展 県外催事出展経費等助成 地域産品の販路開拓 地域産品のPR	16,800	11,200
3 水俣・芦北観光応援社事業	くまモンファーム商品販売・PRイベント 旅行博等への出展 SNS等を活用した情報発信	3,000	5,000
4 雇用促進・人材育成事業	労働力不足解消・雇用機会の創出 受講料の一部助成 高校生の就職支援 会計年度任用職員人件費 その他事務局運営費	9,550	6,451
	環境配慮型農産物技術指導等	0	3,100
	特産品送料応援キャンペーン	0	4,000
予備費		2	1
支出計		46,952	46,952